# S-A4SPT

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

## 安全上のご注意(絵表示について)

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

## ご使用の前に

- このスピーカーシステムの公称インピーダンスは、6Ω（オーム）です。負荷インピーダンスが 4〜16Ωのステレオアンプ（スピーカー出力端子に4〜16Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。
  - 振動板は、外力により強い衝撃を与えますと破損することがあります。振動板には手を触れないでください。

△スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上の入力をいれない。
- 本機を含むAV機器をアンプへ接続するときはアンプの電源をOFFにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げ過ぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

## ⚠ 警告

- 壁や天井に取り付ける場合は、事前に壁や天井などに、本品の重量(3.3kg)に十分耐える取り付け強度があることを確認してください。強度等が不明の場合は専門業者にご相談ください。本機が落下すると大けがをすることがあり、大変に危険です。

- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。また、その後も定期的に安全性を確認してください。

**取り付け場所、取り付け方法の不備による事故等の責任は当社では一切負いかねますのでご了承ください。**

## ⚠ 注意

### 設置

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を乗せて移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

### 使用方法

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが 発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

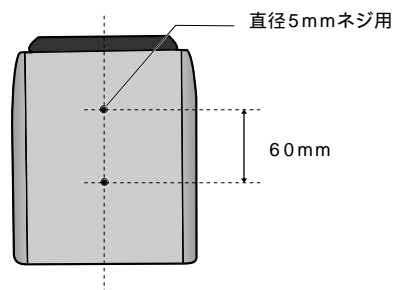
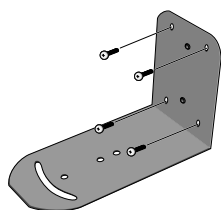
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

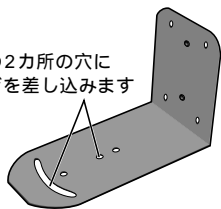
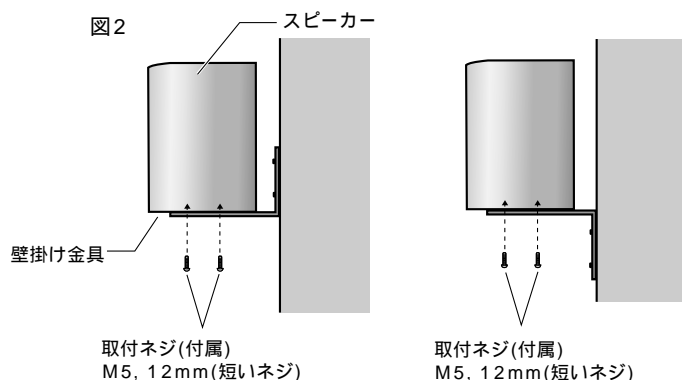
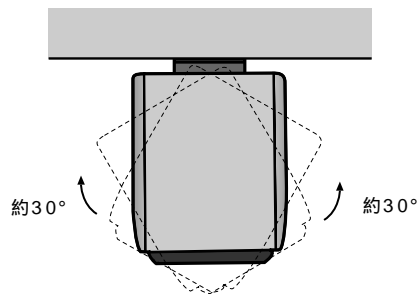
## ⃠ 設置上の注意

- 本品はキャビネット表面に天然木の突板を使用しております。直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。天然木の収縮によるキャビネットの変形、変色およびスピーカーが故障する原因になります。
- スピーカーシステムは重いため、不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。

## 設置について

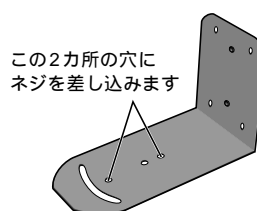
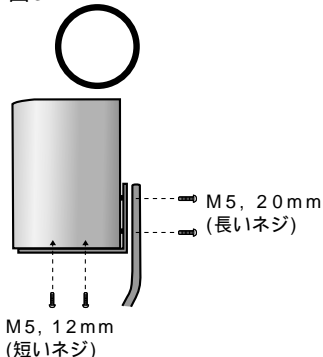
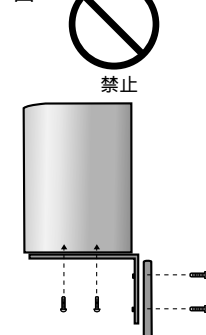
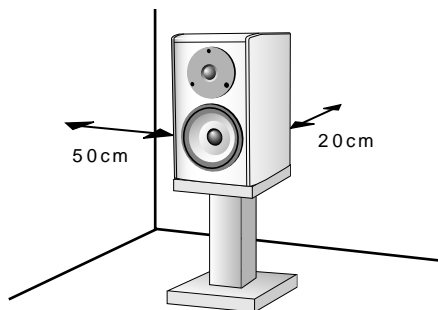
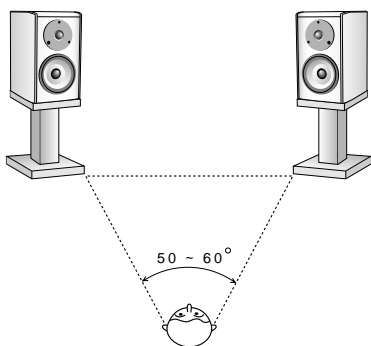
スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙に影響を受けやすいものです。設置する場所を考慮し、最適な状態でお使いください。
このスピーカーシステムはブックシェルフ型です。床に直接置くと床面からの音の反射が大きくなり低音部が強調されて聴きづらくなります。この場合は置台を使用して床面から離してください。一般的には、高音用のスピーカー(トゥイーター)とリスナーの耳の高さが同じになるように設定すると良い結果が得られます。

- 本機は下図のように、底面2カ所に壁掛け金具の取付用ネジ穴があります(直径5mm、深さ10mm、ネジ間隔60mm)。

- 本機を壁に取り付けるときは、市販のネジをお使いになり、壁掛け金具を壁にしっかりと4カ所で固定してください。

次に下図のようにスピーカーを金具の上に載せ、付属ネジ(Ｍ5，12mm)にて2カ所で固定してください(**図1**)。スピーカーと金具はがたつきのないよう、完全に固定してください。壁掛け金具は2通りの方向にて使用できます(**図2**)。

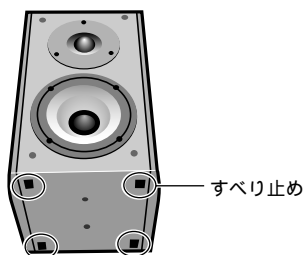
＊ **壁掛け金具にスピーカーを取り付けるとき、M5, 20mm(長いネジ)を使用すると完全に固定できないため、大変危険です。M5, 12mm(短いネジ)を使用してください。**

- スピーカーを左右に約30°に振ることができます。お好みにより角度をつけてお使いください。

- 付属の壁掛け金具は本機に合わせて設計されています。他のスピーカーの取付けなどに使用しないでください。市販の壁掛け金具を使用する際は、本品の重量(3.3kg)に十分耐えられるかご確認ください。また、壁掛け金具の取扱説明書をよくお読みください。本機が落下すると大けがをすることがあり、大変危険です。
- 壁や天井に取り付ける場合は、事前に壁や天井などに、本機の重量(3.3kg)に十分耐える取り付け強度があることを確認してください。強度等が不明の場合は専門業者にご相談ください。
- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。また、その後も定期的に安全性を確認してください。

**取り付け場所、取り付け方法の不備による事故等の責任は当社では一切負いかねますのでご了承ください。**

## 置台にCP-ST5をお使いになるとき

図のように支柱を間に挟み、壁掛け金具(付属)のタップにネジを挿入します。置台に取付けるときは壁掛け金具(付属)を**図3**の方向でお使いください。**図4**のように反対に取り付けると、置台が倒れやすくなり大変危険ですので、絶対におやめください。

＊ **壁掛け用の穴(図１参照)には絶対に本機を取り付けないでください。置台が倒れやすくなり、大変危険です。**

- 本機の重量は3.3kg(1本当たり)です。設置するときは床面のしっかりした場所を選び、壁面からは、図に示す程度の距離を目安にして設置してください。
  本機の後面と壁の距離によって低音の量感を調整することができます。側壁からの距離で左右の音質差がないよう調整してください。

- 左右のスピーカーはリスニングポジションに対し等距離になるよう設置すると自然なステレオ感が得られます。スピーカーコードも同じ長さになるようにしてください。

- 左右のスピーカーシステムの前面がテレビの画面などとなるべく同一平面になるように設置してください。
- テレビなどと組合わせて、より良好な広がりのあるサウンドを実現するためには、テレビを左右のスピーカーシステムの中央に設置し、左右のスピーカーシステムを聴取位置から約50°～60°の角度に設置するのが理想的です。
- 洋間などでは、壁や床に音が反射、または共振しやすくなります。壁にはカーテン、床にはじゅうたんなどを敷くなどして処理することをおすすめします。カーテンを部屋の隅まで入れると音のこもりが少なくなります。またスピーカーの対向面が固い壁の場合も厚手のカーテンで処理をすると定在波の発生を防ぎ良い結果が得ることができます。

## すべり止めの取り付けかた

設置する場所に応じて、付属のすべり止めを使用してください。すべり止めは、スピーカーの設置する面の四隅に貼り付けてご使用ください。ただし、設置する場所によって、すべり止めの効果が不十分になることがありますので、すべりやすい場所には設置しないでください。

## グリルネットの着脱のしかた

前面のグリルネットを取りはずすことができます。グリルネットを着脱するときは、以下のように行ってください。

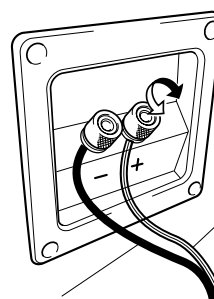
1. **グリルネットの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っぱる**
   グリルネットの下側をはずします。
2. **グリルネットの上側を手前に引っぱる**
   グリルネットが本体からはずれます。
3. **取り付けるときは、グリルネットの四隅にある穴部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。**

## アンプとの接続

**本機の入力端子はバナナプラグでの接続もできます。**

1. **接続するアンプの電源をオフにする。**
2. **本機の後面の入力端子とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコードで接続する。**
   ⊕端子は白ライン入りのコードで、⊖端子はライン無しコードでつなぎます。

   ① 被覆をはがして先端をまとめる。

   ②ネジをゆるめ、コードを穴に差し込んでからネジをしめる。

**白ライン入りのコード**
**ステレオアンプのスピーカー出力端子の⊕へ**

**ライン無しのコード**
**ステレオアンプのスピーカー出力端子の⊖へ**

- 端子に接続した後、コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確認してください。接続が不完全だと音がとぎれたり、雑音のでる原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしがふれたりするとステレオアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- アンプと接続したとき、スピーカーシステム(左右どちらかの)極性(⊕、⊖)を間違って接続すると、正常なステレオ効果を得ることができません。

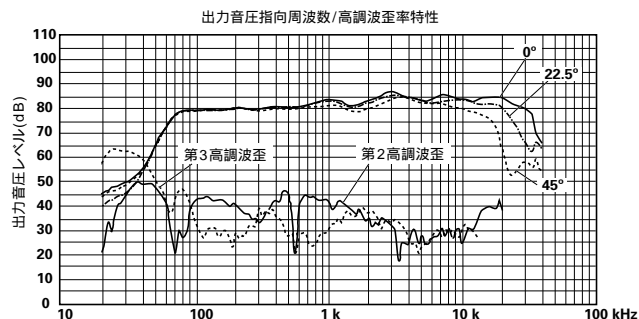
## 仕様

形式 ............................ 位相反転式、ブックシェルフ型防磁設計(EIAJ)
スピーカー構成 .................................................................. 2 ウェイ方式
　ウーファー ................................................................ 10 cm コーン型
　ミッド/ トゥイーター ................................................... 2 cmドーム型
　公称インピーダンス ...................................................................... 6 Ω
再生周波数帯域 .......................................................... 60～40,000 Hz
出力音圧レベル ............................................................ 84 dB/W(1m)
許容入力
　最大入力(EIAJ) ........................................................................ 100 W
クロスオーバー周波数 ................................................................ 3.5 kHz
外形寸法................................ 154(幅) x 246(高) x 195(奥行) mm
質量 .................................................................................... 3.3 kg (1個)

付属品
スピーカーコード(7 m) x 1
すべり止め x 1(セット)
取扱説明書 x 1
保証書 x 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 x 1

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証期間中（一年間）、および保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店、または最寄りの当社サービスステーションにご相談ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。なお、本機の補修用性能部品の＊保有期間＊は、製造打切後８年間です。
＊この期間とは通商産業省の指導によるもので、補修用性能部品とは本機の性能を維持するために必要な部品です。

## 出力音圧指向周波数特性／高調波歪率特性

**ご注意**
防磁設計(ＥＩＡＪ)ですのでテレビやモニターと組合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたら、スピーカーをテレビから離してご使用ください。

このスピーカーシステムのキャビネットの仕上げには、天然木材が使われています。このため、塩ビ化粧材などに比べ色の艶や深みなど素晴らしいものがあります。
これらは天然材のため2つと同じ柄のあるものは存在しません。この点をお含みくださり、ご使用をお願いいたします。

## キャビネットのお手入れ

通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

## 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所への音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

### お客様ご相談窓口( 全国共通フリーフォン )

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問合わせ窓口　**0070-800-8181-22**
- カタログのご請求窓口　**0070-800-8181-33**

<ご注意>
- ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
- 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html*


パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号